

3月の野菜の見通し

令和2年2月29日現在
山形県東京事務所

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	平年比 見込	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量※ (t)	前年 占有率 (%)	
だいこん	9,739	前半多 い ↓ 後半平 年並み	11,800	76	99%	92	0.4	0%	神奈川県、千葉県産ともに暖冬による前進の傾向がある。3月中旬までは順調な出荷が見込まれるが、神奈川県産の終了が例年より早めとなる予想から、下旬には相場が強まる見込み。 全体の数量は、少なかった前年を若干上回り平年並み。
はくさい	7,420	平年並 み	7,511	46	130%	113	0.1	0%	茨城県産は芯腐れ等の品質低下が多く、2月下旬からは数量減少が表面化する。相場は底上げに向かうが、春白菜が前進して出回り、暖冬で量販店の引き合いが弱いことから、大幅な相場上昇は見込めない。 全体の数量は平年並み～やや減少。
キャベツ	19,841	やや多 い	18,192	62	81%	98	0.5	0%	千葉県、神奈川県、愛知県産は、生育が前進傾向で順調な出荷が続く見込み。現状、荷動きはまずまずだが、相場は数量の多さから安値水準となっており、3月も同様の見込み。 全体の数量は、数量が多かった前年並み。
ほうれんそ う	1,495	平年並 み	1,487	357	98%	432	1.8	0.1%	茨城県では小松菜等からの転換が増えており、天候不順がなければ群馬県産と共に順調な出荷が続く。 軟調相場だが、3月下旬は月替わりの量販店特売前で価格底上げの見込み。 全体の数量は平年並み。
ねぎ	4,082	やや多 い	4,149	244	82%	306	22.0	0.5%	千葉県、埼玉県、茨城県産の各産地とも生育前進で肥大は良好だが、品質低下が散見される。 全体の数量は平年並み～やや増加。 荷動きの鈍い状況が続く見込み。

3月の野菜の見通し

令和2年2月29日現在
山形県東京事務所

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	平年比 見込	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量※ (t)	前年 占有率 (%)	
きゅうり	5,841	平年並 み	6,286	330	91%	332	0.0	0%	群馬県、茨城県、埼玉県産が増量する時期である。 全体の数量は平年並み～やや減少。 荷動きの鈍い状況が続く見込み。
トマト	5,965	平年並 み	6,268	409	98%	434	0.0	0%	熊本県産は小玉傾向で、数量増加は見込めない。栃木県、愛知県産は前年の曇天の影響から作柄不良傾向。 全体の数量は、減少した前年並みで、平年をやや下回る見込み。

引用資料:「東京都中央卸売市場における野菜の品目別取扱実績」(青果物情報センター)、「野菜の生育状況及び価格見通し」(農林水産省)、「野菜の入荷・市況見通しについて」(東京青果株)

入荷量について:平年並とは、平年との比率が80%以上、120%未満であることを示す。「0」はラウンドして1tに満たない入荷があったもの。「-」は本県のデータがないもの(入荷がないか、又は少なかったためにその他の産地に含まれる)